

各 位

上場会社名 朝日工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 赤松 清茂
 (コード番号 5456)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 中村 紀之
 (TEL 03-3987-2161)

平成 23 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	20,000	△630	△660	△550	△7,857.14
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	19,591	1,399	1,426	812	11,601.11

(2)平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	1,400	1,300	600	8,571.43
今回発表予想(B)	41,000	350	240	△50	△714.29
増減額(B-A)	0	△1,050	△1,060	△650	
増減率(%)	0.0	△75.0%	△81.5%	—	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	39,143	1,922	1,964	937	13,387.52

(3)平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	18,700	△600	△630	△520	△7,428.57
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	18,346	1,415	1,428	809	11,566.95

(4)平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	1,300	1,200	550	7,857.14
今回発表予想(B)	38,000	250	110	△120	△1,714.29
増減額(B-A)	0	△1,050	△1,090	△670	
増減率(%)	0.0	△80.8%	△90.8%	—	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	36,395	1,849	1,867	971	13,881.85

(5) 修正の理由

＜第2四半期累計期間の業績予想＞

鉄鋼建設資材事業の状況が不透明であるため、前回開示において未定としておりましたが、鉄鋼建設資材事業の製品状況、製品販売価格および鉄スクラップ価格の推移を踏まえ、業績予想値を開示いたします。

＜通期の業績予想＞

〔鉄鋼建設資材事業〕

きめ細かい営業活動により販売数量の増加が見込まれることから、前回の予想時に比べて増収となる見込みです。一方で、以前より進めている設備投資計画が最終段階となり減価償却費が増加することや、設備投資の計画的実施を行うための操業日数の減少などからコストアップとなる見込みであること。また、スクラップ価格に見合った製品販売価格への転嫁が厳しい状況であることなどから、減益となる見込みです。なお、製造工程やエネルギー効率の改善、原料購買でのコストダウンなどにより、減益幅の圧縮に努めてまいります。

〔農業資材事業〕

肥料事業では、肥料販売価格が前回の予想時に比べて低値で推移しておりますが、主力製品である有機肥料の販売拡大や製造コストダウン活動を強力に推進してまいります。園芸事業では、当社の強みである家庭園芸向有機肥料のホームセンターでの扱いが、さらに拡大する見込みです。種苗事業では、大玉トマト「アニモ」の販売が、前回の予想時に比べて拡大する見込みです。

〔環境ソリューション事業〕

民間物件の受注拡大を強力に推進し、収益の改善に努めてまいります。

〔碎石砕砂事業〕

製造工程の改善による効率化が見込めることから、前回の予想時に比べて増益となる見込みです。

このように、当社グループの各事業が、その強みを活かした事業展開を強力に推し進めて収益確保に努めてまいります。鉄鋼建設資材事業の減益が当社グループ全体の業績に与える影響が大きく、平成23年3月期通期の連結売上高は41,000百万円(前回予想差0)、連結営業利益は350百万円(前回予想差1,050百万円減益)、連結経常利益は240百万円(前回予想差1,060百万円減益)、連結純損失50百万円(前回予想差650百万円減少)となる見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上